

# 東京農業大学教授による銚田二高出前授業を開催

東京農業大学教授による出前授業の目的は、農業や農業関連産業を牽引する知識・技術を身に付けた地域のリーダーを育成するために、外部の指導者から専門的かつ高度な農業経営・技術等の講義をしてもらうことです。農業科と食品技術科の2つの学科に東京農業大学の教授からの講義を聞くことができました。食品技術科1年生には、東京農業大学の栄養科学科准教授秋山聡子先生から講義をしていただきました。また、農業科2年生には、農学科教授高畑健先生から講義をしていただきました。

令和6年11月8日(金) 東京農業大学応用生物科学部栄養科学科准教授 秋山 聡子先生



から、食品技術科1年生の生徒29名に、「食品加工・調理をする責任」という内容の講義をしていただきました。食品製造に対するプロ意識の持ち方が一番大切であると生徒へ熱心に伝えいただきました。



自分達が調理した料理を他の人が食べるという認識と責任の重大さについて学ぶことができました。講義を通して生徒が実習に取り組む意識が変化でき大変素晴らしい講義でした。また、生徒からも質問があり今後の食品加工・調理する責任の重大さが改めて明確になった講義でありました。秋山先生ありがとうございました。



令和6年11月28日(木) 東京農業大学農学部農学科教授 高畑 健先生から、農業科2



年生の生徒24名に、「地域農産物のブランド化」という内容の講義をしていただきました。トラクターを運転する教授ですと自己紹介から始まり、地域の農産物をブランド化する方法について分かり



やすく説明していただきました。高畑先生は講義前に近隣の物産所で現地調査を行い、銚田市内で馴染みのある農産物のブランドについて説明するなど、具体的な事例を交えながら講義をしていただきました。また、農大の収穫祭では1万本の大根を栽培し来場者に収穫してもらう企画をするなど圃場最優先の講義をしているので、農業に興味がある人は是非農大を受験して



下さいと話していただきました。そして、高畑先生が普及を目指している「ペピーノ」について解説していただき、農大からペピーノジュースを生徒へお土産として持って来て下さいました。ジュースを飲んだ生徒は「メロンみたいで美味しい」と喜んでいました。将来、地域の農産物ブランドを開発できる人材育成の基本を生徒に分かり

やすく講義していただきました。高畑先生ありがとうございました。

